



令和元年 8 月 17 日

上映会「チョコレートドーナツ」及び講演会「誰も歩いたことのない道を ～ニュース現場からハリウッド、そして映画づくりへ」を実施しました

令和元年 8 月 17 日、新潟市民プラザで上映会「チョコレートドーナツ」と、日本テレビ放送網株式会社映画事業部プロデューサー谷生俊美さんによる講演会「誰も歩いたことのない道を～ニュース現場からハリウッド、そして映画づくりへ」を開催。約 200 人が参加しました。



講師の谷生さんからは、映画の選定理由や解説のほか、同社に男性として入社し、現在は「女性」として歩んできたこれまでの道のり、LGBT の基本などについてご講演いただきました。

講演では、5 年間の中東勤務や帰国後の東日本大震災により、「人はいつ死ぬかわからない、いつ死んでも悔いのないように生きよう」と思ったこと、自分らしさをのびのび出せる環境の充実が個性の輝く社会につながること、人を勇気づける力のあるエンターテインメント作品を手掛けていきたいという決意などが語られ、終了後には鳴りやまないほどの拍手が送られました。

映画「チョコレートドーナツ」

ショーダンサーのルディと弁護士のポールは、母親が薬物依存症のために見捨てられてしまったダウン症の少年マルコと暮らしはじめます。血がつながっていないなくても、法律で許されなくても深い愛情で結ばれる 3 人の姿を優しく描いた映画です。1970 年代のニューヨークで起こった実話をもとにしています。



NIIGATA CITY

【問い合わせ】新潟市男女共同参画課 電話：025 (226) 1061 メール：danjo@city.niigata.lg.jp

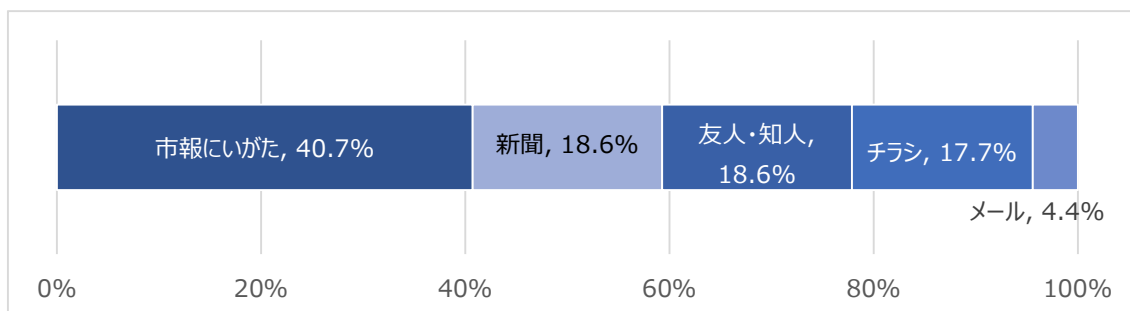
■6色レインボーは性的少数者の尊厳と社会活動の象徴…赤：生命、橙：癒し、黄：太陽、緑：自然、藍：調和、紫：精神

令和元年 8 月 17 日

谷生俊美さん講演会 アンケート

問 1 この講演会をどこでお知りになりましたか。

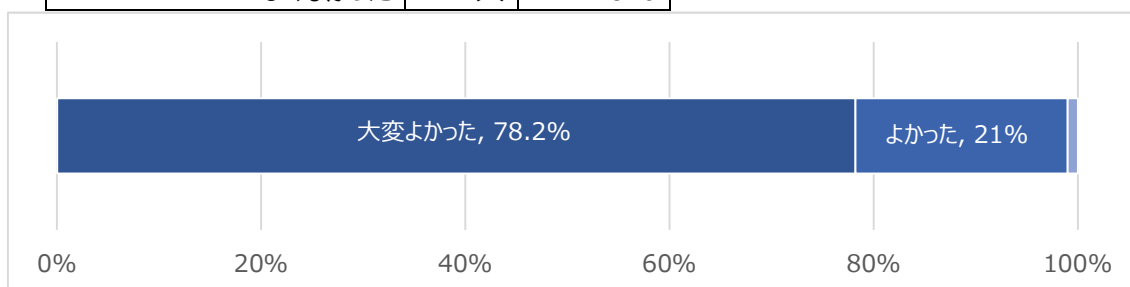
市報にいがた	46 人	40.7%
新聞	21 人	18.6%
友人・知人	21 人	18.6%
チラシ	20 人	17.7%
メール	5 人	4.4%
その他	0 人	0.0%



問 2 講演はいかがでしたか。どのようにお感じになったかについても合わせてお聞かせください。

大変よかった	79 人	78.2%
よかった	21 人	20.8%
あまりよくなかった	0 人	0.0%
よくなかった	1 人	1.0%

※未回答を除くため、合計人数が設問により異なります



【映画に関する感想】

- 愛し合っている人間に垣根はないと思いました。幸せは他人には決められない、決めつけて欲しくないと思わせる映画でした。
- 映画しか見れなかったのですが、とても悔しく、切なかったです。本当に大切なことよりも、表面的な形にとらわれてしまうことが世の中に多すぎる…それが苦しかったです。本来、人を守るための法が、機能していない世界を片隅からでも変えていく…そんな小さな力に自分もなりたいたと思っています。そして、大切な人を守ることが、どんなに大事か考えさせられました。いい映画をありがとうございました。
- 1979年という設定なので、時代的に性的マイノリティに対する理解が余りないことは仕方がない。ゲイの2人がダウン症の子を育てることに理解できるが、しかし、マルコの母親が改心して立派な生活が出来るならどうなのかと思う。
- LGBTの未だ理解されない社会の中で、障害者の他人の子どもを育てることは素晴らしいハートを感じます。
- 上映会はとても良かった。以前に万代市民会館でみた「リリーのすべて」という映画には感動してしまいました。亡くなってしまいますが、とてもよかったです。とても素敵な映画で感銘を受けました。もう一回見たい映画の一本です。
- とても感動しながら映画を見ることが出来ました。
- 上映会とてもよかったです。

【講演内容に関する感想】

- 「セクシャリティーはグラデーション」という言葉にグッときました。もともと映画を見たことがあったため、その映画の解説も含めてとてもぐっと引き込まれるお話でした。キャリアも生き方も素敵でした。これからもZEROをみます！応援してチェックしていきたいと思いました。
- “セクシャリティーはグラデーション”まさにLGBT、この解説が大変共感できた。”知らない事→恐い→反対・拒絶”このスパイラル、ループこそが話題の本質である事に気づかされました。“いつ死んでも悔いのないよう”“死んでもおじさんになりたくない”谷生さんの講演をずっと忘れないテーマとなるものと心より感謝いたします。“個性が輝く社会”→素敵です。共感、共鳴です。
- マイノリティと「寄り添う」という生き方を聞かせていただき、気負いが少しなくなった。確かに理解は難しい…ベースが違うので…トランスして、会社でのトイレ、ロッカールームはどうなったの？温泉は？会社の担当者はそんなことでも悩むの

では？私も下世話ですが疑問です。コメディとして映画だったら面白く学べる気がしました。

- “人はわからないものを怖がる”という言葉が印象的でした。無知は差別を生むと感じます。自分自身の幅を広げるためにも、こうした勉強会に参加していくことが大切だと改めて思いました。
- トランスジェンダーについて理解が進んだ。
- 自分らしくのびのびと生きることが本当の幸せという言葉はシンプルだけどとても大切なことだし、目指していきたい。自分の生きてきた時を全部受け入れているところ。とてもすてきだと思った。
- すごくわかりやすい内容でした！感動しました！LGBTについてよく理解できました。人はそれぞれ違ってよい!! 認め合うことが大切!! すべてのマイノリティが普通に受け入れられる世の中であるべき!!
- とても具体的でわかりやすい納得できる内容で、良かったです。
- トランスへの心構え、社会からの対応をもう少し聞きたいと思いました。後半時間不足がありました。
- LGBTが特別でなく“個性”であるということを改めて認識することが出来ました。人間はいつ死ぬかわからない→ならば自分らしく！まさにその通りです。理解者を増やすこと、寄り添う人を増やしていくことが必要だと思います。
- 知ることがまず第一歩ということ、個性だと思うことを確認しました。
- もともと興味がなかったが、考え方（認識）が変わったかな。
- LGBTQIでも障がい者でも特別な存在でなく、みんなが同じように楽しく生活できる社会になればいいと思いました。知るということが大切。知ればこわさも少なくなる。
- よい映画でした。私のロールモデルが♂の生き方なのに♀の仕事をしています。個性の一つが認められる優しい社会になってほしいです。谷生さんの話、また聞きたいです。質問の答、対応がおもしろかった、もっと聞きたい。新潟のわかものイベントにも参加してほしいです。
- 初めての、私にとっての内容でした。でもなんか知って安心（ホッと）しました。さわやかな気持ちで帰れそうです。ありがとうございました。
- 初めての内容で心を打たれた。考えさせられた。
- チョコレートドーナツの内容理解が一層深まりました。時代背景や映画の素晴らしさを感じる事が出来ました。同性カップルの子育てがわからない→こわい→反対

する。知る事が大切だと思った。

- LGBTについて言葉は知っていたが、内容はよく知りませんでした。谷生氏の生き方（これから）を期待しています。
- 周囲にLGBTを告白する有名人、友人が増えてきて、大学の授業でもセクシャルマイノリティの話題に触れる機会が多くなった。今まで特にLGBTを考える機会がなかったため、関心もなかったが、谷生さんの話を聞いて、自分の中でやはり少しでも偏見があったことに気づいた。理解できない人達も理解できないなりに、みんなが平等に共生しあえる社会になれば良いなと思う。
- LGBTってつまり何？なのでなんとなくではありますが、入り口付近にたどり着きました。ありがとうございます。
- すごく分かりやすく頭の中に入ってきましたが、LGBTQ 身近にいないだけに（何かTVの世界）と思っていましたが、現実見ないとね。皆普通なんだよね。
- 初歩の初歩だとしても LGBT という言葉を多くの人に知ってもらえたことがよかった。自分自身も同性カップルに対する見方が変わった。特別扱いではなくふつうをもとめている。まさにその通りだと思った。今日からそう心がけたい。
- 次回も参加したい。
- 時間が足りなかった。
- 映画・講演会、どちらも大変楽しませていただきました。
- 多様性が認められる社会になってほしい。
- 現状ではLGBT本人たちが自分を「普通ではない」と認識しているので、他人によりそってもらうのは難しいです。
- 内容がつかめなかった。

【講師に関する感想】

- 最良の講師を迎えたと思います。
- 谷生さんのお話がとてもよく、他の人にも聞いてほしいと思いました。
- 谷生さんのことを知りませんでした。分かりやすく楽しく知れて良かったです。LGBTについて、より知ることができてうれしいです。
- 実体験からのお話から、現在のセクシャルマイノリティの方の現状を考える機会を与えて頂きました。
- 素晴らしい方でしたね。自信をもって自分の人生を送っていらっしゃる、うらやましい!!

- とても感動しました。理解するのは難しいことなんだと思いました。
- とても分かりやすい講演でした。この機会をありがとうございました。
- プレゼンが素晴らしかったです。LGBT とは分かりにくいもの…という解説がとてもわかりやすかったです。
- 映画も講演もとても素晴らしかったです。谷生さんを一人の人としてとてもステキだなと思いました。自分の気持ちに素直に、私も生きていきたいと思いました。
- これからも頑張ってください。
- とても楽しいお話でした。人として、ステキな谷生さんが大好きになりました。応援しています。
- 映画の力の大きさを感じた。谷生さんの当事者としての率直な話、分かりやすく理解が深まりました。
- このような物語を初めて拝見し、考えさせられました。谷生さんの講演に感動しました。
- 谷生さんの歯切れの良いかつ力みの少ない話し方がすてきでした。谷生さんのキャリアも素敵だと思いました。知性も感じました。
- メディアの最前線で活躍されている当事者の正直な声を聞かせていただきました。色々な「気づき」がありました。
- 当事者の方のお話を生で聞くのははじめてでした。それが谷生さんで本当に良かったです。非常に理解が深まりました。
- 一人の人としての言葉で語られ”特別”な存在ではないということを実感しました。
- なぜ今「チョコレートドーナツ」を見ることにしたのかなど、谷生さんの意見を聞くことができて良かった。
- 全てが引き込まれました。谷生さん講師良かったです。優先しなくてもいい、普通でいいんだということで肩の荷がおりました。
- 本当に面白かったです！
- 説明が分かりやすく聞きやすく良かった（面白かった、楽しかった）LGBT の意味がよく分かった。
- 知らなかった事を知りました。良かったです。かしこい生き方に感動です。
- とっても頭の良い方だと思いました。御自分の道を選んで進んでください。
- 一般企業で普通に働くことのできるセクシャルマイノリティ（トランスジェンダー）が多くなるのが普通のフツウになる事だと思う。谷生さんは幸せですよ！
- 今まで聴く機会がなかったテーマのお話でとても興味がわきました。とてもアクテ

ィブに活躍されている谷生さんの前向きな性格に憧れました。

- 谷生さんはまるっきり知らない人でした。初めてお顔を見た時は「アレ？女ではないのでは…？」でもトランスジェンダーだと最初から知らされていたので安心しました。そうだ、なんだろうとわからないままだと不安になるのですね。今の時代だからはっきりしたのがよいことだと思いました。でも、女・子どもが出る幕ではないという言葉はまだ死語ではありません。LGBT はどんな立場なのでしょうか、考えたいと思います。
- 谷生さんりの考え方、生き方を聞くことができた。LGBT・性的マイノリティがテーマだが、「谷生さんの話」であった。それがよかった。
- LGBT について今までより少し理解が出来ました。谷生さんの前向きな生き方、尊敬します。
- 自分らしく輝いて講演される谷生さんの姿に感動しました。News zero でお見かけしたとき、家族が男か女かわからないよねーと言うのを、この人はLGBTのことを話すためじゃなく、コメンテーターとして出て、わざわざ性別についていう必要ないんじゃない？と言ったのを覚えています。寄り添えるような行動をしていきたいです。
- LGBT を個性と思うと言われた谷生さんの言葉は印象的だった。
- 個人としてのお話も聞いて良かったです。
- 当事者の話をきけてよかった。
- 短くて残念でした。また呼んでください！
- 引き込まれました。
- とても共感できた。
- 当事者として立派に社会活動を続けている人の話が聞いて良かった。
- ご自分が経験されてきたお話がきけて、理解が深まりました。
- チョコレートドーナツからの谷生俊美さんの講演会、最高に楽しく、感動し、勉強になりました。また、よろしくお願いします。
- 大変おもしろかったです。社内トランスが凄いと思いました。
- 学生時代、報道局時代も自分。自分の努力を認める前向きなエネルギー。
- 実体験からとても説得力のある話でした。とてもすばらしかったです。
- 映画の内容はもちろん谷生さんのお話、LGBT としてではなく色々な世界、テレビ業界、映画に関わる方としてとても内容の濃いものでした。
- とても楽しく聞くことが出来ました。谷生さんを知りませんでした…。映画につ

られて来ましたが、とてもよかったです。分かりやすかったです。

- とてもとても難しいとは思いますが、自分を信じる事が大切との言葉が印象的だった。
(それは過去のすべての仕事からくるものと理解したのですが…)
- 心にひびきました。

【運営に関する意見】

- 映画は英語で見たかった。
- 吹き替えにするのなら字幕が目障りだった。
- NEXT21 はまちなかなので不便でした。市民会館、あるいはユニゾンでどうでしょうか？

問3 性的マイノリティについて、市民の理解を深めるにはどのようなことが必要だと考えますか。

【教育・啓発】

- 幼少期からの教育が必要だと思う。性的マイノリティに限らず、人間は皆平等に個人の尊厳がある事を無理なく自然に当たり前に理解できる教育をお願いしたい。
- 小中学校で分かりやすく理解してもらえるように今回のような公演を開く。(できれば谷生さんに来てもらいたいです！)
- 学校教育が基本に行われていないので、オープンな考え方がほとんどできなかつたと、私自身思います。大人の考えをそのまま受け入れてしまうことを少しずつ外すことが出来るように、広く場を作ることが必要だと思います。
- 子どもの頃から性的マイノリティ(できれば全てのマイノリティ)の話題に触れる機会があるといいのではと思いました。「知らないことは怖い」「知らないことは拒否してしまう」と、講演の中でおっしゃっていた通りだと思います。
- 多様性を認める教育
- “ふつう”という教育を小学生から。
- 周知、啓発。特に小中学生から、社会人までの幅広い世代で。
- 無理解、偏見に満ちた親世代がたくさんいると思う。小中学生へのLGBT教育を通して、親世代への啓発を図る必要があると思います。
- 幼い頃からいろいろな人と出逢い、すてきなエンターテイメントに出逢い、豊かな人生を…と思いました。
- 今回会場にいた人の年齢層が非常に高く、その言葉すら聞いたことがない人の言葉(会話)もちろほら聞こえて、とても個人的につらかったです。オカマやそういうイメージがついている人に病と言っても分からないので、やはり言葉の一つひとつ意味を分かりやすくパンフやポスターにしてほしい。
- 性的マイノリティーがどれくらい存在しているのかを繰り返し伝えること。カミングアウトできない人・カミングアウトした人の困っていること…具体的で身近なこと→私事としてとらえられるように。(マジョリティと同じような悩みであれば関連付けて)

【上映会・講演会等】

- 谷生さんが、映画の力はすごい、とおっしゃっていましたが、単に講話などを聞く

よりも、強い物語の力で理解が進む気がします。また、今日のような映画の上映会を企画してほしいです。

- 今日みたいなエンターテインメントにからめた講演が必要。
- 今回のような上映会や講演会を増やし、様々な地域で行うこと。映画は良い。
- 今回のような啓発活動をもっとしてもらいたい。
- このような機会、講演会等を開催していくことで、理解が深まるのではないか。
- 今回のような機会を多く持ち認知度を高めていく必要があると思います。また、当事者の声を届け、人は様々で良いのだということを社会に理解できるようにしていくことが大切だと思います。
- このような当事者の方のお話を聞いたり、映画として分かりやすくうたえかけることを地道に進めていくことが必要だと感じます。広報をされていると思いますが、さらに工夫が必要かと思います。
- 一般の(?)人々の理解を得る啓発的なことをする機会を増やすことが必要。今回の講演のようなことは重要だと思います。正しく知る事が重要です。
- 当事者の生きづらさの体験談を聞く機会を継続的に定期的に多くの人が聞き、共感を得ること。
- まずは、やはり知る事からがスタートの第一歩なので、人の集まりやすい場所や曜日を設定し、繰り返し今回のような形式で広報していくことが大事だと思う。
- このような機会がまたあると、少しずつ伝わっていくのではないのでしょうか？来週から ZERO 見ます。
- 個人として認めることが大切だと思うので、今回のような、谷生さんのような仕事を頑張っている普通の方のお話を聞きたい。映画を観るのもとてもよかったです。
- 今日のような企画や、テレビの番組などの企画を繰り返して行くことでしょうか？
- チョコレートドーナツをテレビで放送する。"
- 一緒にワークショップ、シンポジウム→同じ空間で同じ時間を共有すること。それが理解を深める第一歩かな？と思います。

【広報、制度等】

- 絶え間なく情報を市民に伝える。
- くりかえしに啓発活動、市報で取り上げるなど。
- 広報などで広めていく。積極的にマイノリティの方々に配慮した法令、条例を作って市民に認知させていく。

- 当たり前前に周知されるよう、このような情報を出し続ける。
- いろんな意味で理解を得られるように情報提供が必要だと思います。
- 人や社会を見る目が、繊細だと思う、素晴らしいかだと思う。今日の谷生さんや映画の主人公の様にそういう面を PR できれば、社会が認めてくれると思う。
- パートナーシップ
- アライのバッジや看板等、耳につくところに予算をかけて設置、配布してほしいです。
- 新潟市などの影響力があるところからトップダウンで活動を行うとともに、ボトムアップで当事者を中心として市民からの意見を吸い上げること。
-

【個人の姿勢】

- 寄り添う姿勢。
- 偏見で人を見ない。
- フラットな姿勢で向き合うこと。
- 色々なことを見て知ること（世界の先進国等）
- ふつうに、弱者や家族に接するぐらい視線を同じにすること。
- 自分ごととして、身近で現実的に存在するものとして認知活動（カミングアウトへの理解、受容）
- 興味関心を持つこと。カミングアウトできる社会にすること。啓学的見地を持つこと。妊娠中から性別を聞かない、とうたした愛着形成をすること…
- 実際に LGBTQI の方とお話する機会があればいいのかと。
- 問題をマイノリティだけに押し付けないことです。アライの運動を推進していくことが重要だと感じます。
- 今回のような映画上映会があるといいと思います。
- LGBT について小中学校などの早い段階から教育すべき。
- 日常会話のなかで当たり前 TV やラジオ。ドラマで普通に（違うことは普通）。差別の日常も含めた、苦しさ、寄り添う事によるお互いの事が感じられる作品待ってます。
- 子どもの頃から知ることが大切だと思います、学校での啓発など。映画や講演会は興味のある人や関心のある人が参加する。広報誌などで理解を深めていくこと、人から人へ伝えていくことが大切だと思います。

- 同じ人間なのにね、十人十色。チョコレートドーナツ全世界の人に見てほしいと思いました。ハッピーエンドにしたいですね。

【その他】

- 理解をしている人の方が多いはずだし…必要の意味が分かりません。
- ドラマや小説、漫画で少しずつ市民権を得てきてる気がします。やはりこの方向ではないでしょうか？
- 徐々に社会に浸透していくしかないのではないですか。
- 状況が理解できていない。周囲にいないので他人事のように思われた。

問4 性的マイノリティをテーマに、今後聞いてみたい内容や講師名があればお書きください。

【内容】

- 学校の制服についての自由。スカート、ズボン
- マジョリティの私が知らずにマイノリティのを傷つけていないか心配。性的マイノリティに限らず、人として、他人の人権に配慮する的に心がける や行動の仕方を知りたい。
- 教育現場で働いており、思春期の子どもたちの性的マイノリティについてもっと勉強したいと思っています。子どもたちから打ち明けられた時や学校でできる啓発法などについて聞いてみたいです。
- LGBTQ? 映画祭? 関東ローカルならぬ新潟ローカルで。いかがでしょうか。
- アウティングについても聞いてみたいです。

【講師】

- 南和行さんのお話が聞きたいです。
- 弁護士の南和行さんと吉田昌史さん
- ミワアキヒロさん
- マツコデラックスさん
- よくEテレのバリバラを見ています。わかりやすいところでいえば、カバちゃんとか。バリバラで言えばLGBTQで出ている人も。男性の女装家はよく見るが、女性が男性として生きている人も掘り下げてほしい。
- カミングアウトしてくれた議員など、外国の性教育・社会教育の性的マイノリティの考えなど~~教育など教えてほしい。
- 当事者同士のトークショーを聞きたい。
- 当事者がどう生活しているのか“ナマ”の声を聴いてみたい。
- また谷生俊美さんの講演が聞きたい
- また谷生先生のお話が聞けたらと思います。
- 今日と同じように上映会+講師のお話がよいと思います。
- 今回は成功の話だったけれど、谷生さんのようになれている人はめったにいないので、一般の人はどのようにしているのか知りたい。

問 5 差支えなければ年代をお聞かせください。

10代	3	2.7%
20代	7	6.3%
30代	9	8.1%
40代	11	9.9%
50代	34	30.6%
60代以降	47	42.3%

